

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3144852号
(U3144852)

(45) 発行日 平成20年9月18日 (2008.9.18)

(24) 登録日 平成20年8月27日 (2008.8.27)

(51) Int.Cl.

F 1 6 D 65/00 (2006.01)

F 1

F 1 6 D 65/00

C

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 実願2008-4759 (U2008-4759)
(22) 出願日 平成20年6月16日 (2008.6.16)(73) 実用新案権者 508208627
菊池 仁
東京都世田谷区赤堤 2-4-3-3
(72) 考案者 菊池 仁
東京都世田谷区赤堤 2-4-3-3

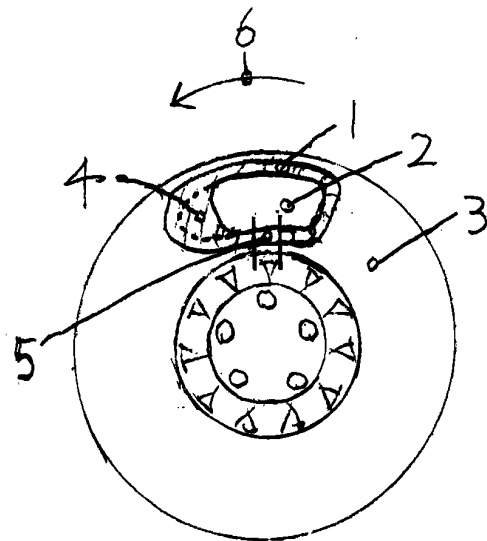
(54) 【考案の名称】 ホイール清潔保持装置

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 磨耗塵を除去する事でホイールの美しさを保つディスクブレーキを提供する。

【解決手段】 ディスクブレーキのパッドの周囲に不燃繊維材を巻付け接着して磨耗塵を飛散させず集塵する事でホイールの美しさを保つ。ローターが一定方向に多目に回転する為磨耗塵も一方方向に片寄る磨耗塵の片寄る所だけブレーキパッドに接着させず空間を作りそこに磨耗塵を収容する事で飛散させず集塵する事ができる。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】

ディスクブレーキのブレーキパッド周囲に不燃繊維材を巻付け接着する事で制動時に発生する磨耗塵を不燃繊維材に付着させ尚且つ飛散させること無く何時までもホイールを美しく保つ ホイール清潔保持装置です。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

これはブレーキパッドの周囲に不燃繊維材を巻付け接着したディスクブレーキに関する物です。

10

【背景技術】

【0002】

ディスクブレーキの摩擦による磨耗塵でホイールを汚し美しさを損なっていた。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

ホイールの汚れを落とす装置は有るが最初から汚れを飛散させない物は無かった。

【課題を解決する為の手段】

【0004】

ブレーキパッドの周囲に不燃繊維材を巻付け接着する事で磨耗塵を飛散させず清潔を保つ事が出来る。

20

【0005】

ローターが一定方向に多目に回転する為磨耗塵も一方向に片寄る磨耗塵の片寄る所だけブレーキパッドに接着させず空間を作りそこに磨耗塵を収容する事で飛散させず集塵する事ができる。

【0006】

ディスクブレーキは常に小石、泥、水、等にさらされている。
壊れないようにする為に不燃繊維材の外面部を硬化剤で硬くして対応する。

【0007】

ブレーキパッドは車種によって大きさが異なるため不燃繊維材の一部を切り離しその間に補助不燃繊維材をその長さに合わせて切りブレーキパッドに接着する事で対応する。

30

【図面の簡単な説明】

【0008】

【図1】 自動車の車輪のディスクブレーキ部分の図でキャリパーを外したブレーキパッド ローター ブレーキパッド周囲を巻いた不燃繊維材を表しています。

【図2】 ブレーキパッドに巻きつける前の不燃繊維材とブレーキパッドの大きさに合わせる為の補助不燃繊維材を表す。

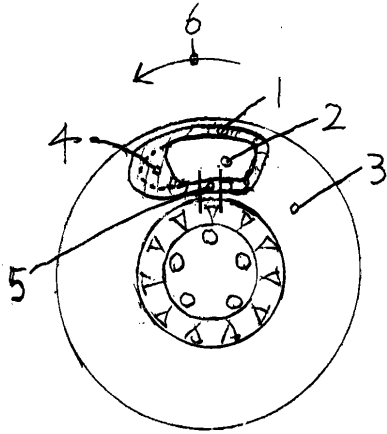
【符号の説明】

【0009】

40

- 1 不燃繊維材
- 2 ブレーキパッド
- 3 ローター
- 4 空間
- 5 補助不燃繊維材
- 6 ローター回転方向

【図 1】



【図 2】

